

## 新鎌イルミネーション報告書

新鎌イルミネーション実行委員長 榎本美紅

- 1 日程 令和元年11月17日 午前11時00分～午後19時30分
- 2 開催場所 新鎌ヶ谷駅北口ロータリー、新鎌にぎわい広場、アクロスモール新鎌ヶ谷、鎌ヶ谷市総合福祉保健センター正面玄関前
- 3 共同活動者 所属・職名 政策情報学部・教授 榎沢順
- 4 事業の実施状況

天候にも恵まれ、計画通り開催できた。来場者数は、3800名。昨年よりも2900名増加し、市内イベントでも大規模のイベントとなった。

にぎわい広場は飲食ブースとして、地域のお店やキッチンカーが並び、昨年よりお店が増えたからか1日中にぎわいを見せた。

アクロスモール会場は市民や企業によるワークショップブースの出展を行った。開始より前にお客様が集まり、たくさんの方が興味をもっていると感じた。ゆるきゃらやサンタクロースのグリーティングも人気だった。

点灯式は1時間とは思えない内容の濃さのため人が多く集まり、カウントダウンが盛り上がった。千葉商科大学と協力し行った初のプロジェクションマッピングには子どもから大人、男女など多くの方が集まった。鎌ヶ谷市オリジナルの作品に感動の声が上がり、来年もあるのかと問い合わせもあった。出展者も来場者も笑顔になり、イベントの目的を達成できたと感じた。

千葉商科大学と共に行ったことで、以下のことを感じた。

- ・プロジェクションマッピングを鎌ヶ谷市に住むいろいろな方へ体験してもらうことができ、小さなお子様やシニアの参加者増加を感じた。
- ・衣装の作成、点灯式の音響や照明などイベントとしてクオリティを上げることができ、市民の方々の満足度もあがった。
- ・学生と共に運営や企画を行うことで、新たな視点から見ることができ、昨年よりもイベントの枠が広がった。

インターネット告知、北総、東武、新京成のご協力により各駅へのポスター展示、駅の看板などポスターでの周知方法を主とした。イベントが定例化してほしいとの声も上がっていたため、課題を解決し、今後も継続するかを検討する必要性を感じた。

## 5 チラシ、ポスター

